

平成24年度

# 一般社団法人日本建設機械施工協会会長賞 受賞業績（その1）

一般社団法人日本建設機械施工協会会長賞は、我が国の建設事業における建設機械及び建設施工に関する技術等に関して、調査・研究、技術開発、実用化等により、その高度化に顕著な功績をあげたと認められる業績を表彰し、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的としております。

平成24年度は、9件の応募があり、その中から会長賞選考委員会（委員長：深川良一 立命館大学教授）において厳正な審査を行った結果、下記のとおり、4件が選考され、去る5月30日に開催された当協会通常総会後、表彰されましたのでご紹介致します。

なお、誌面の構成上、一部表記を原文とは異なる表現とさせていただきますこととお断りします。

## 受賞業績及び受賞者

### ■会長賞

#### ・超高層ビル解体工法「テコレップシステム」の開発

大成建設株式会社

超高層ビルの解体に関する安全性向上、回生電力利用システム、省力化、周囲の環境に配慮した粉塵・騒音の低減化などの技術的效果、新規性等が、今後需要が見込まれる分野での先進的技術として多くの選考委員より高く評価された。

### ■貢献賞

#### ・IH式舗装撤去機械システムの開発

株式会社竹中道路、株式会社竹中工務店

鋼床版上の舗装撤去に関するユニークな提案であり、既存部材の損傷防止、安全性向上、省力化、環境配慮に貢献する技術で、維持管理分野で有効的に活用されている技術。電磁誘導加熱を活用するところなど独創的であり、将来性、実用性等が高く評価された。

### ■貢献賞

#### ・連続・高速・大量 CSG 製造設備の開発と合理化システム

—世界初となる台形 CSG ダム—

鹿島建設株式会社

現地発生土を有効に利用する工法で、種々の技術開発が行われており、今後の大規模工事等への採用拡大による省力化等への貢献が期待できる高い技術的效果、経済的效果、ダム、地すべり対策、トンネル工事等実績も幅広く、実用性などが高く評価された。

### ■奨励賞

#### ・トンネル坑内の粉じん低減工法「トラベルクリーンカーテン」の開発

株式会社大林組

比較的簡易な装置で粉塵を抑え、作業環境の改善に大きく寄与するもので、安全性向上、省力化、経済性が期待できるとされ、新規性、将来性などで評価された。